

# 羅針盤

伊豆市立中伊豆中学校  
進路だより 第1号  
H31. 4. 12発行

進路担当 山崎

## 自分の進路について考えよう！

新しい学年になり1週間ほど経ちました。1年生は、授業も始まってだんだん中学校生活にも慣れてきたでしょうか。2年生は「先輩」という立場になり、1年生を引っ張り3年生を支える役割にやりがいを感じていると思います。そして3年生、委員会や部活動ではリーダーとしてがんばろうという気持ちを持っていると思いますし、なにより「授業をしっかり受けよう」という思いが伝わってきます。今心の中にある決意や目標を忘れずに、1年間しっかりやっていきましょう。

この進路だより『羅針盤』は、3年生を対象にして進路についての情報を不定期にお知らせするものです。1・2年生にも、今後の進路を考えるきっかけになるときに配ります。家庭で保護者の方と読んでいくことで、進路決定に役立ててほしいと思います。

## 今、心がけること・大切なこと



### 夢はありますか？ 意欲はありますか？

将来、どんな仕事をしたいですか。具体的な職業でなくても、どの分野だったら、どんな仕事だったら自分は数十年間がんばっていいのか、中学校から高校卒業までに自分の考えをまとめていくのが「進路学習」です。

「親に言われたから」「成績で決めた」という他人任せではいけません。「自分の進路は自分で決める」という心構えを持ってください。親や先生は、助言や手伝いしかできないのです。どんな自分になりたいか夢を持ち、その実現のための進路を考えましょう。

### 学習（授業・家庭学習）をしっかりと！

3年生は、志望校合格に向けて「成績を上げる」という目標を掲げた人が多いと思います。では、そのために今何を始めましたか？

今までと同じ生活をしていては変わりません。『がんばる』という気持ちを形にしましょう。何を、どのようにやるか、計画を立てて取り組んでいきましょう。

①授業に意欲的に取り組む、②課題提出の期限を守る、③苦手科目を自分で勉強する（家庭学習を行う）、この3点を忘れずに勉強していきましょう。

### 毎日の生活を見直そう

入試当日、制服のボタンを外して受験に臨む生徒はほとんどいませんね。スカートの長さやズボンのはき方を直したり、カバンのキーホルダーを外したりして受験しています。なぜ、そうするのか？それは、そのような服装・持ち物のほうが清潔感があり、人柄もよく感じられるということを皆さん自身が分かっているからです。

ならば、毎日の生活から清潔感のある服装・持ち物で登下校すれば、地域の方からも認められる大中学生になれると思うのです。

それぞれの家庭で、服装（名札・腕章・ベルトの色・スカートの長さ・ワイシャツの下のシャツの色など）や持ち物（うわばきの落書き・余分なキーホルダー・シールなど）について話をしてみてください。特に3年生は、今日の姿で入試に行くつもりになって考えるとよいと思います。

※裏面には、中伊豆中の行事と進路に関する1年間の計画を載せてあります。月日は多少前後することがありますが、進路についてのおよその流れが分かります。